

2. 借入がある世帯とない世帯の間に大きなゆとりの差

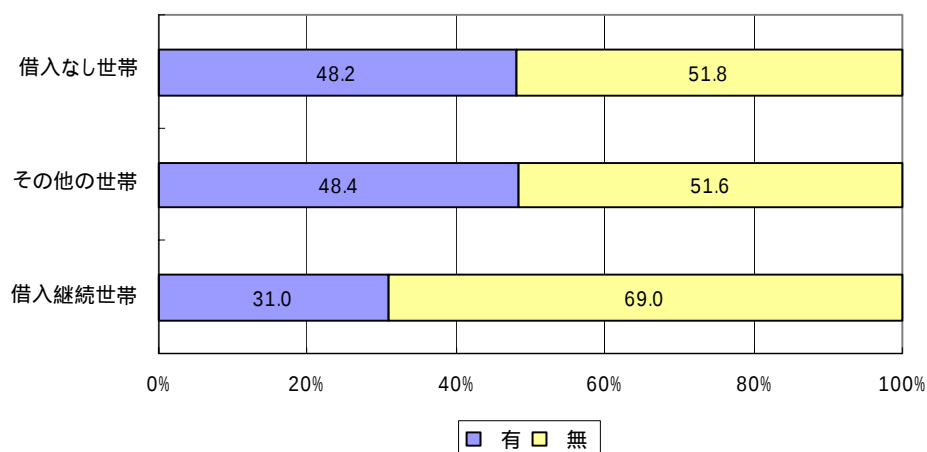
2 - 4 借入継続世帯にとって厳しい資産形成への道

住宅ローン以外の借入タイプ別に家計の状態をみてきたが、ここでは住宅ローン保有率や預貯金現在高についてみてみよう。

「借入なし世帯」と「その他の世帯」の住宅ローン保有率は、それぞれ48.2%、48.4%であるのに対して、「借入継続世帯」では31.0%にとどまる(図表8)。同じ借入でも日々の生活のための借入は住宅ローンとは異なり、資産形成につながるわけではないため、「借入継続世帯」が高齢になったときに、家計の状態が悪化することが懸念される。

さらに預貯金現在高をみると、「借入なし世帯」の預貯金額は約788万円であるのに対し、「借入継続世帯」は124万円(図表9)と、ここでも差が見られる。

図表8 借入タイプ別 住宅ローン保有率



図表9 借入タイプ別 貯蓄現在高

